



令和2年度 清水小学校だより

令和2年6月1日発行

清水の子

文責 校長 沖島 宏幸

しっかり考える子 ・ 自らよく行う子 ・ すこやかな子



「いのちを見つめる日」にあたって



6月1日は「いのちを見つめる日」です。全校朝会（3密を避けるため放送）で「いのちを大切にしてほしい」という願いを込め、次の二つの話をしました。

1 この世に無駄な存在は何一つない。

みんなそれぞれの存在の意味をもって、この世を生きています。世界にたった一つしかない、自分だけの「人生の役割」を果たすために、この世に生まれて来ているのです。

人々は「石ころ」といってばかにしますが、外に行って同じ石ころを二つ見つけることのできる人はいないはずです。形、大きさ、色、質（成分）など、どんな小さな石でも、みな違うのです。一つ一つは、独自の存在なのです。その一つ一つを組み合わせる昔から日本に伝わる石積み垣、石垣は、全体としては見事なものです。大きい石、小さい石、丸い石、細長い石、みんなそれぞれの役割を立派に果たして、一つの全体を作り上げているのです。その時、一つの小石も欠けてはならないのです。文字通り、かけがえがないのです。石垣を見て、人間も同じことが言えるのではないかと、思いました。

小さい石だからだめだというのではないんです。小さい石でなければ果たせない、大切な役割を持っているのです。先ほど人間も同じことと言いましたが、「みんなが君を必要としているんだよ。みんな待ってるぞ。がんばれよ。」ということなのです。

2 命は、私のものであって私のものでない。



私の命はお父さん、お母さんからいただいたものであり、さらにはおじいちゃん、おばあちゃんからいただいたものです。もっとさかのぼれば、遠い遠い昔からの先祖代々の命が、今まさに、この私の体に息づいているのです。

石川洋さんという方が、次のようなことを言われています。

「ああ、この太い足が、私の大きな体を支えていてくれたのか。私の人生のおぼつかない歩みを、この太い足が守ってくれていたのか、と気づいてみると、この、どうしようもない足の太さのなかに、私の母の生命が息づき、父の願い生きていてくださったのだと、胸の中にじいんと熱くなってきた。私が生きているのではない。私が生きようとする前に、私を生かしてくださる『おん働き』がこの太い足のなかにも、いきいきと働いてくださっているのだと、しみじみと涙がこぼれてくるのであった。」

一本の手、一本の足にこもる命の重さを、私たちは今こそ知らなければならぬと思います。

これからも、命を大切にしていましましょう。自分を大切にしてください。そして、周りの人も大切にしてください。そうすれば、みんなが楽しく安心して暮らせます。みんなで笑顔いっぱいの清水小学校をつくっていきましょう。

※ こういう機会にご家庭でも、いのちについて考え、語り合っただけなら幸いです。

[裏面もあります。ご覧ください。]



ありがとうございました

マスクが離せない毎日です。そんな中、PTA役員の皆様から、子どもたちに手作りマスクをいただきました。お忙しい中、3密を避けるよう工夫して、1枚1枚作成してくださいました。心温まるプレゼントにただただ感謝しかありません。

6月の主な行事予定

- 1日(月) いのちを見つめる日 全校朝会 児童個人面談(12日まで 朝の時間)
- 3日(水) 委員会活動
- 4日(木) 尿検査2次
- 5日(金) プール清掃(6年)
- 9日(月) 縦割り出合いの会(朝の時間)
- 12日(金) プール開き 心臓検診(1年)
- 17日(水) 交通安全教室
- 19日(金) 尿検査3次
- 24日(水) クラブ活動
- 29日(月) 6.29平和集会



※ あくまでも予定です。変更の場合はお知らせします。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、様々な行事・集会等が中止・延期となっています。なにとぞご理解のほど、よろしくお願いいたします。

- 例年6月は、「いのちを見つめる強調月間」として、全学級「道徳」の授業公開を行っていましたが、本年度は、11月へ延期します。
- 6月30日予定の音楽鑑賞体験教室(5年)は、中止となりました。

うれしいですね、がんばっている子どもたち

— 子どもたちの校外での活躍 —

※ 敬称略

◇ 昨年度分です

「佐世保市小中学生競書大会」 秀作 塚○ り○(現3年)
銅賞 塚○ も○(現6年)



※ このようなご時世で、様々な大会等が中止になっていますが、受賞等あられましたら賞状等持たせてください。紹介させていただきます。